SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：岱明運輸株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営理念を明文化している ・経営目標を社内に掲示し、社員へ周知している								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	●		・法令厳守の規定があり、職場の掲示板の活用や安全会議などで社員に共有している																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・会社として公正な取引に努め、適正な契約・運賃を提案し、社内で共有している										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響（可能性）を総務部が担当し把握している																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・担当者を設置しセキュリティを強化するなど適切に管理している ・知的財産に関する侵害排除について配慮している								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・情報漏洩事故を起こさないため担当者を限定し、鍵付きのしかるべき場所に保管を行い適正な取扱いを行っている																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・お客様との定期的な会議、行政機関による研修会を通じコミュニケーションを取りお互いの情報交換・共有に努めている																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者の指導、育成において、資格取得や各種セミナーへの参加等のサポート支援を行っている ・人事考課制度にて、社内でスキルアップ・ステップアップ出来るよう取り組んでいる								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる		●	・フェアトレード商品に関心を持ち、事務用品など社内で使用する商品に選択肢がある場合は、積極的にフェアトレード商品を調達している	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している	●		・各種ハラスメントの禁止について就業規則に定め、社内で差別や人権侵害がないことを確認している ・採用時に年齢・性別・国籍による差別は行っていない				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		・担当者が労働安全衛生講習会などに参加している ・定期的に安全会議や労働時間会議などを行い、労働環境を整備している			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		・顧問弁護士や社労士に相談しながら、同一労働・同一賃金を理解・認識し社員（正社員・パート社員・委託社員）の公正な待遇を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している	●		・残業時間の管理や業務効率化による労働時間の短縮、生産性の向上、有給休暇の積極的取得や健康増進に努めている			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		・業務上必要資格の取得支援（大型免許・リフト免許・クレーン・玉掛け・運行管理者等）に取り組むとともに、技能講習・初任運転者教育は社外にて行っている				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる	●		・健康経営優良法人を取得し、社員が一日でも長く健康で働けるよう健康管理に取り組んでいる。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	●		・女性や高齢者が活躍できる職場づくりを図っている ・社内で多様な働き方の提案を行っており、高齢者を対象として再雇用制度を構築している				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	・社内の共有個所や備品のアルコール消毒の徹底、感染者・濃厚接触者発生時に対する対応や管理体制の確保を行っている ・社内WEB会議の開催、社外WEBセミナーに参加している			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる		●	・デジタルタコグラフを取り入れ、業務効率化を図っている								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：岱明運輸株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる	●		・社内におけるごみの分別を行い、排出業者として廃棄物処理法の諸規定に基づき、自治体の許可を受けた廃棄物処分業者に委託し、契約締結から最終処分の確認まで適正に行っている			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる	●		・デジタルタコグラフにて燃料使用量を把握し、急発進、急加速のない運転、アイドリングストップに取り組んでいる							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・【予定】2022年10月から簡易計算シートを用いて、温室効果ガス排出量の把握を行う ・適正な輸送ルートの選択やデジタルタコグラフのエコドライブ支援機器の導入により、温室効果ガス排出量の抑制に取り組んでいる		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している	●		・事業所内の緑地は、出来る限り自然のままを保ち、もともといる生物の生息・生息地の保全を行っている ・特にプラスチックのごみの分別化を行い業者に回収してもらっている						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・事務処理のペーパーレス化（FAX・メール・PDF活用）を行うとともに、燃えるごみを減らすために使用済みコピー用紙の裏紙を積極的に活用している									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる	●		・【予定】2022年12月までに蛇口に節水コマの設置をする		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・再生用紙利用を推進している ・一部の車両にはリユース部品を使用している									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる		●	・敷地内にある桜の木などの植物の保全に取り組んでいる											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる		●	・倉庫に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの運用を行っている ・事務所内照明をLED照明に取り替えている							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる		●	・熊本県トラック協会主催の植栽・森林整備活動の取り組みに参加している						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している		●	・ごみ（特にプラスチック・ビニール類）の分別化を強化し、業者に回収してもらっている												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している		●	・社用車にハイブリッド車を導入している									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：岱明運輸株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している	●		・毎月1回安全会議を行い、安全意識・輸送品質・輸送サービスの向上に努めている			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている	●		・洋式トイレ・ウォシュレットを設置など、誰もが過ごしやすい職務環境の整備に取り組んでいる									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	・会社の壁面・床面に木材を使用している							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	●		・地域の区役に参加し職場周辺地域のごみ拾いの実施・草刈りをしている ・トラック協会の清掃活動に参加し、地域の社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている	●		・社内にハザードマップを掲示し避難経路を周知している ・各部署で細分化し、災害時の安否確認を速やかに行えるように連絡網を作成している				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している		●	・2018年より熊本県防災消防ヘリコプター「ひばり」の場外離着陸場として許可を受けるなど、災害時の防災拠点として防災連携に取り組んでいる	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している		●	・新卒採用（高校生）を行っている ・職業の学びの場の提供において出前授業や地域小学生の社会見学の受け入れを行っている				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている		●	・熊本県またはトラック協会主催等の会社説明会、高校への出前授業に積極的に参加し、県内の若者に熊本の会社が魅力ある職場であることをアピールしている				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。